

あったらいいな通信

市川三郷町では、地域住民が中心となり、助け合い、支えあいの視点から「まちづくり」について考える場（協議体活動）が始まっています



町全体で考える（第1層協議体）

行政、社協、福祉施設、商工会、ボランティア団体等の多様なメンバーが集まり、町全体で「あったらいいな」ということを検討します。令和7年度は「移動支援」について検討し、勉強会を開催しました



移動支援に関する勉強会

⇒ 多くの住民と移動等の地域課題を考えるため、
地域支えあいフォーラムを開催します！（裏面参照）

各地区で集まり、話し合い、つなげる（第2層協議体）

主に旧町単位で地域の支えあいを広めるために、今何が問題なのか（ニーズ把握）から既存の活動につなげたり、自ら考えたり、町全体や身近な地域に働きかけています。誰でも気軽に集える「居場所づくり」が3地区共通の関心事に挙げられています。



地域で助け合いを始める、やってみる（第3層協議体）

高田地区、下大鳥居地区では、住民同士が集まり、より暮らしやすい地域を目指し、支えあい協議体を立ち上げました。買い物ツアー、百歳体操、学習サポート会、もちつき大会、アンケート調査等に取り組み、住民同士の助け合い活動が広がっています。



学習サポート会（高田）



防災講話（下大鳥居）